

一西だより

豊川市立一宮西部小学校通信

令和6年9月13日 第17号

発行；校長 村上謙一

【2学期が始まりました】



式典もリモートではなく、みんなが体育館に集まって行えるようになりました。



授業も再開。気持ちを新たにして取り組んでいます。



9月4日に読み聞かせも始まりました。



9月～10月初旬は器械運動月間です。全校でマット運動や跳び箱運動に取り組みます。

【PTA役員会を開催しました】

9月10日（火）、第3回PTA役員会を開催させていただきました。関係の皆様におかれましては、ご多用の中お集まりいただき、誠にありがとうございました。来年度の組織変更（学年委員の廃止とそれに伴う教養部と保健厚生部の活動の見直し）、PTA学用品バザー（2/6開催予定）、PTA教養講座・芸術鑑賞会（10/4開催予定）、通学班編成等についてご協議いただきました。まだまだ暑いさなかではありますが、来年度の準備が始まりました。PTA活動については社会の変化に合わせて、組織のスリム化を図り、会員の皆様の負

担感の軽減を図っていただいています。「これまでやっていたことだから」という活動を重ねていると、取組当初の理念が薄らいで負担感が生まれます。やらされる活動から、この指とまれ方式に改める新たな挑戦です。会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

【始業式講話の一部を紹介します】

大谷選手は世界一の活躍を続けるために、「やらないこと」を自分で決めています。

①外食をすること 取材の時も外食を断るそうです。油をとらず、栄養をコントロールするためです。体が健康でないとトップレベルの野球はできません。

②イライラすること イライラしたら勝負に負けるから、ふだんからおこらないのです。

③寝不足になること 体力を回復するため、夜に外に出ません。10時間寝ています。

④お金を使うこと ポルシェという高級車に乗っていますが、これはポルシェが乗ってほしいとお願いしたからです。普段の生活では贅沢をしていません。

⑤自慢をしない 満足したら成長できないからです。

⑥ごみを放っておくこと ゴミを拾うことで運を拾っていると考えていることは有名です

⑦決めつけること 二刀流は無理、170キロの球を投げるのは無理と思わず、挑戦することを大切にしています。

大谷翔平さんはこれらの「不便なルール」を自分でつくっています。なぜこんな不便なルールをつくるのか。それは「なりたい自分=世界で活躍する野球選手をつづけるため」ではないでしょうか。なりたい自分になるためには、やらない事を決めていかなければならないということです。世界一を続ける大谷さんだからこそ、私たちがふだんやっていることも「やらない」のです。つまり「なりたい自分」になるためには、「やらないこと」を決めることも大切なのです。

かしこく・やさしく・たくましい一西小の子どもになるために、ふさわしくないことは「やらない」。必要なことは「やる」。これを考えることが「一西小のやくそく」の見直しです。

2学期、一西小の子どもたちの多くの人々が「ミニ大谷翔平」になっていくことを期待しています。